

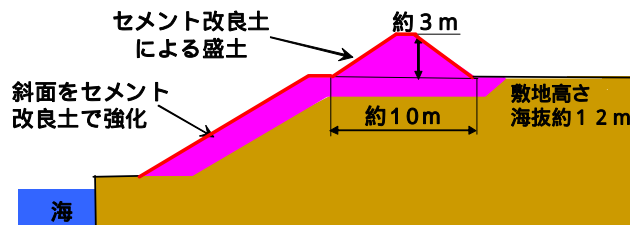
# 発電所の更なる安全対策を進めています

柏崎刈羽原子力発電所では、既に実施済の緊急安全対策に加えて、津波の浸入・衝撃から敷地内の安全上重要な施設を守るため、敷地の海側に防潮堤(堤防)を設置する工事などを進めています。

## 5～7号機側の防潮堤(堤防)

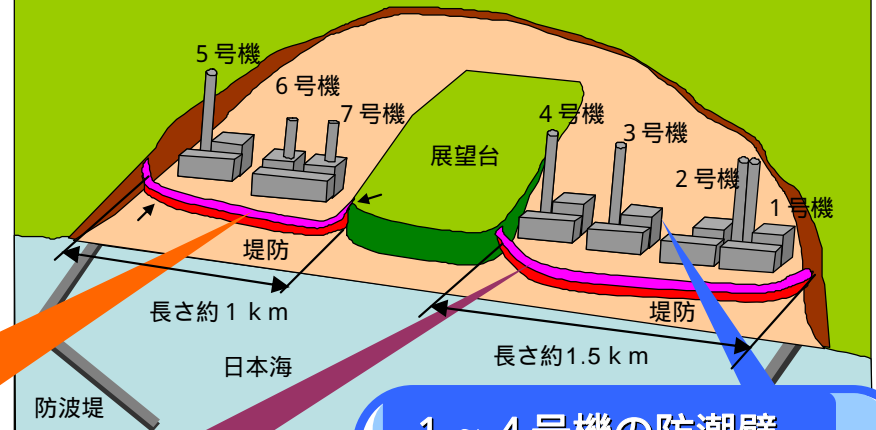
8月29日に本体工事が完了しました

海拔約1.2mの敷地に、高さ約3mのセメント改良土による盛土と海側斜面の強化を行いました。  
今後、表面保護工事など周辺整備を平成24年度内を目途に進めてまいります。



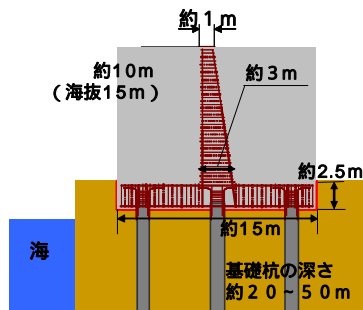
展望台より(8月28日撮影)

## 防潮堤(堤防)設置イメージ



## 1～4号機側の防潮堤(堤防)

工事を順調に進めています



3号機海側(8月28日撮影)

海拔5mの敷地に、基礎杭でしっかり固定した高さ約10mの鉄筋コンクリート製の堤防を作っています。基礎杭は全891本の打込みが8月28日に完了し、一部の壁部分も完成しています。

## 1～4号機の防潮壁

1号機完了 2～4号機工事中

万一、津波が敷地内に進入した場合に、原子炉建屋内への浸水を防ぐため、海拔約15m以下の給排気口に防潮壁や防潮板を設置しています。



防潮壁設置工事(8月28日撮影)

5～7号機に海拔15m以下の給排気口はありません。



海側から(8月28日撮影)

より一層の信頼性向上のための安全対策を引き続き実施してまいります。